

2024年度NBRPゾウリムシ運営委員会（1回目）議事録

日時：令和6年4月25日（木） 11時00分～12時00分

場所：Webex会議

出席者（敬称略）

運営委員：

石田正樹（委員長，奈良教育大学），岩井草介（弘前大学），岩本政明（日本大学），柴田あいか（アリゾナ州立大学），道羅英夫（静岡大学），西上幸範（北海道大学），保科亮（株式会社ノベルジェン），度会雅久（課題管理者，山口大学共同獣医学部）

オブザーバー：

林哲也（PO，九州大学），鈴木智広（NBRP事務局），向井あすか（NBRP広報室），川本祥子（NBRP情報センター），秋山佳丈（基盤技術整備分担課題管理者，信州大学），黒田浩介（基盤技術整備分担課題管理者，金沢大学）

陪席者（山口大学）：

渡邊健太（課題管理参加者，共同獣医学部），橋理人（課題管理参加者，大学研究推進機構），折崎真哉（学術研究部）

議事に先立ち，度会委員から司会を石田委員長に依頼した。

議題

1. 課題管理者挨拶

度会委員から，配布資料の確認を行った後，資料3に基づき，運営委員会参加者の紹介があった。

2. 報告事項

（1）令和5年度事業報告

度会委員から，令和5年度の収集数，寄託者数，提供数，利用者数の実績は，すべて目標値以上となっている旨，報告があった。なお，保存数については，株を効率的に維持するため，第5期NBRPから目標値以下となるように整理している。利用者数については，令和4年度と比較して増加しており，広報活動を通じた新規ユーザーの獲得が考えられる旨，補足説明があった。加えて，令和5年度実績報告書作成のため，発表論文について情報提供の依頼があった。

（2）広報活動

度会委員から，資料6に基づき，前回運営委員会後の広報活動について説明があった。令和6年度は，日本細菌学会（8月）及び日本獣医学会（9月）での広報活動が予定されている。加えて，第57回日本原生生物学会が山口（11月23日（土）～24日（日））で開催されることになっており，NBRPゾウリムシもブースを設けて広報活動を行う旨，情報共有があった。

（3）令和6年度NBRPゲノム情報等整備への対応について

度会委員から、令和6年度 NBRP ゲノム情報等整備について、ゲノム解析を予備的に行い、そのデータを加えて申請予定であったが、予備的解析が十分整っていないため、今年度の申請を見送ることとし、令和5年度に採択された基盤技術整備に注力する旨、報告があった。その後、道羅委員から、利用者にとって有用なリファレンス情報としてのゲノム情報の整備を検討の上、申請準備を進めたい旨、補足説明があった。

3. 協議事項

(1) 令和5年度 NBRP 基盤技術整備の進捗について

令和5年度 NBRP 基盤技術整備の進捗について、秋山 分担課題管理参加者（金沢大学）、黒田 分担課題管理参加者（金沢大学）、橘 課題管理参加者（山口大学）からそれぞれ報告があった。その後、委員を含めた自由討論があった。

最後に、林 PO から、次のとおりコメントがあった。

提供数が目標値を超えている点は安心できる。基盤技術整備については、試験に留まらないターゲット設定が重要である。代表・分担機関間での情報共有を充実させるために、運営委員会のみならず、当時者間でのミーティング頻繁を上げる等、対策が必要ではないか。

以上